○福島大学人間発達文化学類規程（抜粋）

別表1(第10条第1項)

履修基準(接続・教養・問題探究・学類基礎・学類専門・卒業研究・自由選択領域)

<table>
<tr><th></th><th>領域区分</th><th>科目区分</th><th>開設科目等</th><th>セメスター</th><th>単位</th><th colspan="2">卒業要件単位数</th></tr>
<tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>必修</th><th>選択必修</th></tr>
<tr><td rowspan="20">基盤教育</td><td rowspan="6">接続領域</td><td rowspan="2">スタートアップ科目</td><td>スタートアップセミナー</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>社会とデータ科学の基礎</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ライフマネジメント科目</td><td>キャリア形成論</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>健康運動科学実習</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語コミュニケーション科目</td><td>英語AⅠ・AⅡ</td><td>1～</td><td>1</td><td>4</td><td></td></tr>
<tr><td>英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ</td><td>1～</td><td>1</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="12">教養領域</td><td rowspan="3">学術基礎科目</td><td>人文科学分野の科目</td><td>1～</td><td>2</td><td>2</td><td rowspan="13">5</td></tr>
<tr><td>社会科学分野の科目</td><td>1～</td><td>2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>自然科学分野の科目</td><td>1～</td><td>2</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">キャリア設計科目</td><td>キャリアモデル学習</td><td>3～</td><td>2</td><td rowspan="2">2</td></tr>
<tr><td>ワーキングスキル</td><td>3～</td><td>1又は2</td></tr>
<tr><td>健康・運動科目</td><td>スポーツ実習</td><td>2～</td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">外国語科目</td><td>英語BⅠ・BⅡ</td><td>3～</td><td>1</td><td rowspan="4">4</td></tr>
<tr><td>応用英語</td><td>1～</td><td>1</td></tr>
<tr><td>英語以外の外国語基礎(特設)Ⅰ・Ⅱ</td><td>1～</td><td>1</td></tr>
<tr><td>英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ</td><td>3～</td><td>1</td></tr>
<tr><td>情報科目</td><td>情報リテラシー</td><td>1～</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">問題探究領域</td><td>問題探究科目</td><td></td><td>1～</td><td>2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>自主学修プログラム</td><td></td><td>1～</td><td>1又は2</td><td></td></tr>
<tr><td>問題探究セミナー</td><td>問題探究セミナーⅠ</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">基盤教育　小計</td><td></td><td></td><td>29</td><td>5</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専門教育</td><td>学類基礎領域</td><td>問題探究セミナー</td><td>問題探究セミナーⅡ</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">学類専門領域</td><td>コース専門科目</td><td></td><td>1～</td><td>1又は2</td><td></td><td rowspan="2">34</td></tr>
<tr><td>学際・教養科目</td><td></td><td>1～</td><td>1～4</td><td></td><td rowspan="2">26</td></tr>
<tr><td>卒業研究領域</td><td>卒業研究科目</td><td></td><td>6～</td><td>1又は4</td><td>8</td></tr>
<tr><td colspan="3">専門教育　小計</td><td></td><td></td><td>10</td><td>60</td></tr>
<tr><td colspan="2">自由選択領域</td><td colspan="2">基盤教育・専門教育の各領域ごとに修得が定められた授業科目を超えて修得した科目(単位)</td><td></td><td></td><td></td><td>20</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　計</td><td></td><td></td><td>39</td><td>85</td></tr>
<tr><td colspan="6"></td><td>124</td></tr>
</table>

(注)

1，接続領域及び教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する。

2，接続領域「英語以外の外国語」で要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上することができる。

3，教養領域の外国語科目必修4単位の修得方法は、「英語4単位」、「英語以外の外国語4単位」、「英語2単位＋英語以外の外国語2単位」のいずれかとする。

4，学際・教養科目は必修科目である問題探究セミナーⅡ及び卒業研究科目を除くすべての学類開講科目から、所定の単位以上を選択履修する。

5，要卒単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

○福島大学行政政策学類規程（抜粋）

別表１（第８条第１項、第２１条第１号）

行政政策学類履修基準表（昼間）

	領域区分	科目区分		履修セメスター	分類　（※1）	科目単位	要卒単位（※5）	
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	必修	2	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	必修	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	必修	2	2	
			健康運動科学実習	1	必修	1	1	
		外国語コミュニケーション科目（※3）	英語AⅠ・AⅡ	1～	必修	1	4	
			英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ	1～	必修	1	2	
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1～	選択必修・自由	2	2	5（※2）
			社会科学分野の科目	1～	選択必修・自由	2	2	
			自然科学分野の科目	1～	選択必修・自由	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	3～	選択必修・自由	2	2	
			ワーキングスキル	3～	選択必修・自由	1または2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	2～	選択必修・自由	1		
		外国語科目（※3）	英語BⅠ・BⅡ	3～	選択必修・自由	1	4	
			応用英語	1～	選択必修・自由	1		
			英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ	1～	選択必修・自由	1		
			英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ	3～	選択必修・自由	1		
		情報科目	情報リテラシー	1～	選択必修・自由	2		
	問題探究領域	問題探究科目（※4）		1～	選択必修・自由	2	2	
		自主学修プログラム		1～	選択必修・自由	1または2		

		問題探究セミナー	問題探究セミナーⅠ	2	必修	2	2
		（小計）					34
専門教育	専門領域	学類専門科目	学類共通科目	1～	選択必修・自由	2	8
			学類基礎科目	3～	選択必修・自由	2	24
			コース専門科目	3～	選択必修・自由	2	24
		演習、卒業研究	問題探究セミナーⅡ・Ⅲ	3・4	必修	2	4
			演習Ⅰ～Ⅳ	5・6・7・8	必修	2	8
			卒業研究	8	必修	4	4
		（小計）					72
自由選択	自由選択領域						18
総計							124

（注）

※１「必修」とは、その科目を必ず修得しなければならないことを示す。

「選択必修」とは、指定された複数の科目のうちのいずれかを選択して修得しなければならないことを示す。

「選択必修・自由」とは、「選択必修」の要卒単位数を超える分について、自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

「自由」とは自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

※２「教養領域」の学術基礎科目各分野２単位計６単位、キャリア設計科目２単位、外国語科目４単位、「問題探究領域」の問題探究科目２単位、計１４単位を修得した上で、更に「教養領域」の全科目、及び「問題探究領域」の問題探究科目、自主学修プログラムから５単位を修得する。

※３①接続領域及び教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する。

②接続領域「英語以外の外国語」で要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上することができる。

③教養領域の外国語科目必修４単位の修得方法は、「英語４単位」、「英語以外の外国語４単位」、「英語２単位＋英語以外の外国語２単位」のいずれかとする。

※４問題探究科目は、夜間主に開講される問題探究科目からも選択し受講できる場合がある。（行政政策学類学生

のみ)

※５基盤教育の必修単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

○福島大学行政政策学類規程（抜粋）

別表２（第８条第１項、第２１条第１号）

行政政策学類夜間主履修基準表

	領域区分	科目区分		履修セメスター	分類（※1）	科目単位	要卒単位（※5）	
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	必修	2	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	必修	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	必修	2	2	
			健康運動科学実習	1	必修	1	1	
		外国語コミュニケーション科目	英語	1～	必修	1	4	
	教養領域（※3）	学術基礎科目	社会科学分野の科目★	1～	選択必修・自由	2	2	9（※2）
			人文科学分野の科目★	1～	選択必修・自由	2	2	
			自然科学分野の科目★	1～	選択必修・自由	2	2	
		キャリア設計科目（※3）	キャリアモデル学習☆★	3～	選択必修・自由	2	2	
			ワーキングスキル☆	3～	選択必修・自由	1または2		
		健康・運動科目（※3）	スポーツ実習☆	2～	選択必修・自由	1		
		外国語科目（※3）	英語BⅠ・BⅡ☆	3～	選択必修・自由	1	2	
			応用英語☆	1～		1		
			英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ☆★（※4）	1～		1		
			英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ☆（※4）	1～		1		
			英語以外の外国語応用☆★	3～		1		

			（※4）				
		情報科目（※3）	情報リテラシー☆★	1～	選択必修・自由	2	
	問題探究領域	問題探究科目	☆	1～	選択必修・自由	2	2
		自主学修プログラム		1～	選択必修・自由	1または2	
		問題探究セミナー	問題探究セミナーⅠ	2	必修	2	2
		（小計）					34
専門教育	専門領域	学類専門科目	夜間主共通科目☆★	1～	選択必修・自由	2	24
			夜間主コース専門科目☆★	3～	選択必修・自由	2	30
		演習、卒業研究	問題探究セミナーⅡ・Ⅲ	3・4	必修	2	4
			協働演習Ⅰ～Ⅳ	5・6・7・8	必修	2	8
			卒業研究	8	必修	4	4
		（小計）					70
自由選択	自由選択領域	他要卒単位超過分、他コース専門科目、自学類で指定された他コース昼間科目、他学類開放科目、他大学単位互換科目、短期語学研修・外部検定試験・国際交流協定に基づく海外留学認定科目　★					20
総計							124

（注）

※1「必修」とは、その科目を必ず履修しなければならないことを示す。

「選択必修」とは、指定された複数の科目のうちいずれかを選択して履修しなければならないことを示す。

「選択必修・自由」とは「選択必修」の要卒単位数を超える分について、自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

「自由」とは、自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

※２「教養領域」の学術基礎科目各分野２単位計６単位、キャリア設計科目２単位、外国語科目２単位、「問題探究領域」の問題探究科目２単位、計１２単位を修得した上で、更に「教養領域」の全科目、及び「問題探究領域」の問題探究科目、自主学修プログラムから要卒単位として計９単位を修得する。

※３「教養領域」のキャリア設計科目、健康・運動科目、外国語科目、情報科目は、昼間開講の科目を選択する。なお、学術基礎科目、キャリアモデル学習、英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ、英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ、情報リテラシーは、放送大学の活用もある。

※４①放送大学のドイツ語Ⅰ、フランス語Ⅰ、中国語Ⅰ、韓国語Ⅰは、「英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ」に対応する。

放送大学のドイツ語Ⅱ、フランス語Ⅱ、中国語Ⅱ、韓国語Ⅱは、「英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ」に対応する。

②要卒単位を超えて、昼間開講の「英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ」を選択する場合は、同一言語の昼間開講の「英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ」を単位修得しなければならない。

③要卒単位を超えて、昼間開講の「英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ」を履修する者は、同一言語の昼間開講の「英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ」を同時に履修しなければならない。

④授業科目の履修によらない外国語の履修単位修得もある。

※５基盤教育の必修単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

※６☆印のある科目区分については、昼間開講科目に対応する科目がある。

★印のある科目区分については、放送大学科目の活用もある。

○福島大学経済経営学類規程（抜粋）

別表１（第８条第１項、第２１条第１号）

履修基準

領域区分		科目区分	開設科目等	履修開始セメスター	1科目単位数	分類（注1―4）	要卒単位	
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	2	必修	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	2		2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	2		2	
			健康運動科学実習	1	1		1	
		外国語コミュニケーション科目（注6、7）	英語AⅠ・AⅡ	1	1		4	
			英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ	1	1		2	
		（小計）					13	
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1	2	必修	2	5（注5）
			社会科学分野の科目	1	2		2	
			自然科学分野の科目	1	2		2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	5	2	選必	2	
			ワーキングスキル	3	1または2			
		健康・運動科目	スポーツ実習	2	1	自由		
		外国語科目（注6、8、9）	英語BⅠ・BⅡ	3	1	必修	4	
			応用英語	1	1			
			英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ	1	1			
			英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ	3	1			
		情報科目	情報リテラシー	1	2	選必		
	問題探究領域	問題探究科目		1	2	選必	2	
		自主学修プログラム		1	1または2	自由		
		問題探究セミナー	問題探究セミナーⅠ	2	2	必修	2	
		（小計）					21	

	（合計）						34
専門教育	専門領域	学類基礎科目	リテラシーA	1	2	必修	14
			リテラシーB	2	2	選必※	14
		問題探究科目	問題探究セミナーⅡ	3	2	必修	2
		コース専門科目	コース専門科目群	1	2	選必	32
			専門演習	4～6	2	選必※	6
			AL科目群　（注10）	3	2		
			卒業研究演習Ⅰ	7	2		
			卒業研究演習Ⅱ	8	2	必修	2
			特殊講義	1	2	自由	
		卒業研究	卒業研究	8	4	必修	4
		（合計）					74
自由選択		自由選択科目		1	1または2		16
全体		（総計）					124

（注）

1　「選必」は同じ科目区分内で選択必修として、「自由」は自由選択科目として要卒単位に計上できます。

2　「必修」は、必修の要卒単位を超えて修得した単位を自由選択に計上できます。

3　「選必」は、同じ科目区分内で選択必修の要卒単位を超えて修得したものを自由選択に計上できます。

4　「選必※」は、選択必修の要卒単位を超えて修得したものをコース専門科目として計上できます。

　　なお、コース専門の要卒単位を満たしている場合は、自由選択に計上できます。

5　教養領域と問題探究領域科目については、各区分の要卒単位を満たした上、更に５単位を履修する必要があります。

　なお、要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上できます。

6　接続領域及び教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する必要があります。

7　接続領域の「英語以外の外国語」で要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上できます。

8　教養領域の外国語科目必修４単位の修得方法は、「英語４単位」「英語以外の外国語４単位」「英語２単位＋英語以外の外国語２単位」のいずれかとします。

9　編入学生（日本国籍を有しない者）の「英語以外の外国語」に関して、日本語の履修を認めることがあります。

１０　AL（アクティブラーニング）科目とは、「卒研のための統計分析」「コーオプ演習」「海外調査」グローバル演習（「WEAⅠ・Ⅱ」「JSPⅠ・Ⅱ・Ⅲ」）「実践ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「実践ロシア語Ⅰ・Ⅱ」「特別演習」を指します。

○福島大学共生システム理工学類規程（抜粋）

別表２

共生システム理工学類　履修基準表

	領域区分	科目区分	開設科目等	履修年次	セメスター	1科目単位数	卒業要件	
							必修	選必
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	1	2	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	1	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	1	2	2	
			健康運動科学実習	1	1	1	1	
		外国語コミュニケーション科目	英語AⅠ・AⅡ	1～	1～	1	4	
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1～	1～	2	2	7
			社会科学分野の科目	1～	1～	2	2	
			自然科学分野の科目	1～	1～	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	2～	3～	2	2	
			ワーキングスキル	2～	3～	1又は2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	1～	2～	1		
		外国語科目	英語BⅠ・BⅡ	2～	3～	1	4	
			応用英語	1～	1～	1		
			英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ	1～	1～	1		
			英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ	1～	1～	1		
			英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ	2～	3～	1		
		情報科目	情報リテラシー	1～	1～	2		
	問題探究領域	問題探究科目		1～	1～	2	2	
		自主学修プログラム		1～	1～	1又は2		
		問題探究セミナー	問題探究セミナーI	1	2	2	2	
	小計						34	
専門教	学類共通領域	学類共通科目	共生の科学Ⅰ	1	1	2	2	
		接続領域科目	接続数学・接続理科	1	1	2	4	
		学類基礎科目		1～	1～	2	4	10

育		学類専門科目	共生の科学Ⅱ	3	5	2	2	
	コース領域	コース基礎科目		2～	3～	2	12又は8（注1）	
		コース専門科目　（注2）		2～	3～	2		28又は32（注3）
		コース実践科目	問題探究セミナーⅡを含む（注4、注5）	2～	3～	1又は2	6又は2（注6）	4又は8（注7）
	演習	演習	演習Ⅰ・演習Ⅱ	3、4	6、7	2	4	
	卒業研究	卒業研究	卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ	4	7、8	2	4	
	小計						80	
自由選択	自由選択領域　（注8）						10	
全体	総計						124	

※　「選必」とは選択必修を示す。

※　教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する。

※　教養領域の外国語科目必修４単位の履修方法は、「英語４単位」、「英語以外の外国語４単位」、「英語２単位＋英語以外の外国語２単位」のいずれかとする。

※　基盤教育において、卒業要件単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

（注１）情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース基礎科目を１２単位修得しなければならない。環境システムコースは、コース基礎科目を８単位修得しなければならない。

（注２）各コースで示されたコース専門科目のうち、指定の科目群から１２単位以上修得しなければならない。

（注３）情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース専門科目を２８単位以上修得しなければならない。環境システムコースは、コース専門科目を３２単位以上修得しなければならない。

（注４）問題探究セミナーⅡは、４セメスターにて各コースのコース実践科目（必修）の科目として開講される。

（注５）環境システムコースは、コース実践科目（選択必修）のうち、指定の科目群から４単位以上修得しなけれ

ばならない。

（注６）情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース実践科目（必修）を６単位修得しなければならない。環境システムコースは、コース実践科目（必修）を２単位修得しなければならない。

（注７）情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース実践科目（選択必修）を４単位以上修得しなければならない。環境システムコースは、コース実践科目（選択必修）を８単位以上修得しなければならない。

（注８）専門教育において、学類共通領域において卒業要件を超過して修得した単位、所属しているコースのコース領域の各科目区分において選択必修の卒業要件を超過して修得した単位及び所属しているコース以外のコースのコース領域科目の各科目区分において修得した単位は、自由選択に計上することができる。

○福島大学食農学類規程（抜粋）

別表１

食農学類履修基準表

	領域区分	科目区分		セメスター	1科目単位数	要卒単位数	
						必修	選択必修
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	2	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	2	2	
			健康運動科学実習	1	1	1	
		外国語コミュニケーション科目	英語AⅠ・AⅡ	1～	1	4	
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1～	2	2	7（注1）
			社会科学分野の科目	1～	2	2	
			自然科学分野の科目	1～	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	3～	2	2	
			ワーキングスキル	3～	1または2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	2～	1		
		外国語科目（注3）	英語BⅠ・BⅡ	3～	1	4	
			応用英語	1～	1		
			英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ（注2）	1～	1		
			英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ（注2）	1～	1		
			英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ（注2）	3～	1		
		情報科目	情報リテラシー	1～	2		
	問題探究領域	問題探究科目		1～	2	2	
		自主学修プログラム		1～	1または2		
		問題探究セミナー	農場基礎実習Ⅱ	2	2	2	
	小計					34	

専 門教育	専門領域	学類共通専門基礎科目	数理リテラシー	1～		4	4	7（注4）
			農学リテラシー	1～		14	14	
		学類共通専門科目		4～		4		
		コース専門科目		4～		28		
		（食品科学・農業生産学コース）				(4)	(24)	
		（生産環境学・農業経営学コース）				(8)	(20)	
		卒業研究科目		6～		9		
	小計					84		
	自由選択領域	自由選択科目（注5）				6		
計						124		

（注１）「教養領域」の学術基礎科目各分野２単位計６単位、キャリアモデル学習２単位、外国語科目４単位、「問題探究領域」の問題探究科目２単位、計１４単位を修得した上で、さらに、「教養領域」の全科目及び「問題探究領域」の問題探究科目、自主学修プログラムから７単位修得する。

（注２）「教養領域」の英語以外の外国語は、同一言語で修得する。

（注３）「教養領域」の外国語科目必修４単位の修得方法は、英語４単位、英語以外の外国語４単位、英語２単位＋英語以外の外国語２単位のいずれかとする。

（注４）７単位については、所属するコース以外のコース専門科目を含めることができる。

（注５）要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択科目に含めることができる。

○福島大学大学院地域デザイン科学研究科規程（抜粋）

別表１

履修基準（人間文化専攻（臨床心理領域を除く）、地域政策科学専攻、経済経営専攻）

科目区分		要修了単位数	
		学際性重視型	専門性重視型
大学院基盤科目		必修2単位	必修2単位
専攻基盤科目		必修2単位	―
専門科目	イノベーション・コア	必修2単位	―
	プロジェクト研究	必修6単位	―
	自専攻科目	選択4単位	選択14単位
	他専攻科目	選択4単位	―
	特別演習	必修4単位	必修4単位
	特別研究	必修4単位	必修4単位
自由選択科目＊		選択2単位	選択6単位

＊専攻基盤科目、専門科目の選択科目から、学生が自らの学修に必要な科目を選択して履修する。

別表２

履修基準（人間文化専攻（臨床心理領域））

科目区分		要修了単位数
		専門性重視型
大学院基盤科目		必修2単位
専攻基盤科目		―
専門科目	イノベーション・コア	―
	プロジェクト研究	―
	自専攻科目	必修2単位、選択16単位
	他専攻科目	―
	特別演習	必修4単位
	特別研究	必修4単位
自由選択科目＊		選択2単位

＊専門科目の選択科目（「イノベーション・コア」及び「プロジェクト研究」を除く。）から、学生が自らの学修に必要な科目を選択して履修する。

○福島大学大学院共生システム理工学研究科規程（抜粋）

別表１

履修基準（共生システム理工学専攻博士前期課程）

科目区分		専門性重視型	学際性重視型
大学院基盤科目		必修2単位	必修2単位
専攻基盤科目		—	必修2単位
専門科目	イノベーション・コア	—	必修2単位
	プロジェクト研究	—	必修6単位
	自専攻科目	必修4単位、選択10単位	必修4単位
	他専攻科目	—	選択4単位
	特別演習	必修6単位	必修4単位
	特別研究	必修8単位	必修4単位
自由選択科目		—	選択2単位
最低修得単位数合計		30単位	30単位

別表２

履修基準（共生システム理工学専攻博士後期課程）

区分	基準	単位数
必修	共通科目に含まれる授業科目のうち共通科目A「共生システム特別講究」2単位、所属する領域の「専門科目」5科目10単位、「特別研究」6単位、計18単位修得	18単位
選択必修	共通科目に含まれる授業科目のうち共通科目B（「共生数理システム特別実践演習」「共生環境システム特別実践演習」のうち所属する領域の1科目必修）	2単位
最低修得単位数合計		20単位

別表３

履修基準（環境放射能学専攻博士前期課程）

科目区分		専門性重視型	学際性重視型
大学院基盤科目		必修2単位	必修2単位
専攻基盤科目		—	必修2単位
専門科目	イノベーション・コア	—	必修2単位
	プロジェクト研究	—	必修6単位
	自専攻科目	必修10単位、選択4単位	必修4単位
	他専攻科目	—	選択4単位

	特別演習	必修4単位、選択2単位	必修4単位
	特別研究	必修8単位	必修4単位
自由選択科目		—	選択2単位
最低修得単位数合計		30単位	30単位

別表４

履修基準（環境放射能学専攻博士後期課程）

区分	基準	単位数
必修	応用科目	8単位
	講究科目	6単位
選択必修	基礎科目	6単位
最低修得単位数合計		20単位

○福島大学大学院食農科学研究科規程（抜粋）

別表

履修基準（食農科学専攻）

科目区分		専門性重視型			学際性重視型		
		必修・選択の区分と単位数		修了要件単位数	必修・選択の区分と単位数		修了要件単位数
		必修	選択		必修	選択	
大学院基盤科目		2	0	2	2	0	2
専攻基盤科目		2	0	2	2	0	2
専門科目		16	10	26	24	2	26
	イノベーション・コア	—	—	—	2	0	2
	プロジェクト研究	—	—	—	6	0	6
	共通専門科目	2	2〜8	12	2	0〜2	4
	コース科目	0	2〜8		0	0〜8	
	他コース科目	0	0〜6		0	0〜2	
	他専攻科目	—	—	—	0	0〜2	
	特別演習	6	0	6	6	0	6
	特別研究	8	0	8	8	0	8
最低修得単位数合計				30			30

○福島大学大学院教職実践研究科規程（抜粋）

別表

履修基準（教職実践研究科）

区分	単位数
大学院基盤科目	必修2単位
共通5領域	必修20単位
選択科目	選択10単位
学校における実習領域	必修10単位
プロジェクト研究領域	必修4単位
最低修得単位数合計	46単位